



沖縄県国頭村

だより



題字・安田小学校6年 萩 るりな

令和5年3月3日発行 第128号

鏡地地区内ホテル建設計画の住民アンケート調査結果は？

奥間土地改良区の貯水池改修計画は？

森林業振興の現状と課題は？

～村民の声を行政へ～

森
林
資
源
活
用
と
森
林
組
合
の
果
た
す
役
割
は
？

くいなエコ・スポレクゾーン料金の
値上げはなぜ？

世界自然遺産登録1周年から何が見えるか？

エコツアーア認定制度の進捗は？

一般質問 令和4年第13回国頭村議会(12月定例会)

令和4年第12回臨時会(11月)

議案番号	件名	議案等の概要	結果
議案第68号	令和4年度国頭村一般会計補正予算(第6号)	2,986千円の増額補正	原案可決 (全会一致)
議案第69号	令和4年度国頭村簡易水道特別会計補正予算(第3号)	113千円増額補正	原案可決 (全会一致)
議案第70号	国頭村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	沖縄県人事委員会の給与勧告及び他市町村の給与改定等を考慮し、給与改定を行う	原案可決 (全会一致)
議案第71号	単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	沖縄県人事委員会の給与勧告及び他市町村の給与改定等を考慮し、給与改定を行う	原案可決 (全会一致)

令和4年第13回定例会(12月)

議案番号	件名	議案等の概要	結果
議案第72号	令和4年度国頭村一般会計補正予算(第7号)	301,055千円の増額補正	原案可決 (全会一致)
議案第73号	令和4年度国頭村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	3,250千円の増額補正	原案可決 (全会一致)
議案第74号	令和4年度国頭村簡易水道特別会計補正予算(第4号)	2,368千円の増額補正	原案可決 (全会一致)
議案第75号	国頭村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について	窓口における印鑑登録証明書の交付申請の方法を追加(個人番号カード使用)	原案可決 (全会一致)
議案第76号	国頭村職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例について	地方公務員法の一部改正に伴い、関係条例を整備	原案可決 (全会一致)
議案第77号	会計年度任用職員の給料及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	職員の給与改定に伴う会計任用職員への給与改定適用日を定めるため改正	原案可決 (全会一致)
議案第78号	辺戸岬拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	施設運営体制の強化、運営の効率化及びサービス向上を図るため改正	原案可決 (賛成多数)

議案番号	件名	議案等の概要	結果
議案第79号	国頭村民ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	運営の効率化を図るため、料金の改定を行う。(1日もしくは半日単位の料金設定を、1時間単位に設定)	原案可決(全会一致)
議案第80号	沖縄県北部医療組合の設立について	公立沖縄北部医療センター及び公立沖縄北部医療センター附属診療所の建設整備及び管理運営並びに医療従事者の確保に関する事務を共同処理するため	原案可決(全会一致)
議案第81号	学びの森遊歩道改修工事請負契約について	契約の方法：指名競争入札 契約金額：134,728,000円 契約の相手方：有限会社陽功建設	原案可決(賛成多数)
議案第82号	安田小学校校舎建築工事請負契約について	契約の方法：指名競争入札 契約金額：78,100,000円 契約の相手方：有限会社陽功建設	原案可決(全会一致)
議案第83号	国頭球場防球ネット工事請負契約について	契約の方法：指名競争入札 契約金額：63,250,000円 契約の相手方：有限会社のうけん	原案可決(全会一致)
報告8号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、議会に報告書を提出する必要があるため	報告

令和5年第1回 臨時会(2月)

議案番号	件名	議案等の概要	結果
議案第1号	令和4年度国頭村一般会計補正予算(第8号)	149,770千円の増額補正	原案可決(全会一致)
議案第2号	車両の取得について	取得数量：2台 取得金額：7,040,000円 契約の相手方：琉球日産自動車株式会社	原案可決(全会一致)

賛否が分かれたもの

○：賛成 ×：反対 欠：欠席

議案番号・件名	採決の結果	島袋晴美	大田孝佳	山川安雄	山城正和	渡口直樹	与儀一人	知花正寛	宮城誠	金城利光	山城弘一
議案第78号 辺戸岬拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—
議案第81号 学びの森遊歩道改修工事請負契約について	原案可決(賛成多数)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—



知花 正寛
議員

**ヤンバルクイナ観察小屋・
エコツアーカー認定制度**

問 ヤンバルクイナの観察小屋の設置及びエコツアーカーの認定制度の進捗は。

答 知花 靖 村長

久高将和氏から、勉強会発足の企画提案があった。ヤンバルクイナの観察小屋の設置及びエコツアーカーの認定制度の構築等を含め、保全と適正な利用に関する課題や取り組みのほか、一連の取り組みを担う人材の育成も含め議論をしていく。

問 久高さん提案の日本初のエコツアープログラム認定制度を早期に構築して、認定ガイドが環境に負荷を与えないように観光客に啓発活動を図りながら、環境保全に配慮したガイドの方を導入すべきでは。

答 村長
久高さんを含め専門家の意見を伺いながら検討していく。

問 観察小屋を来年8月本村での「山の日」開催前の早い時期に設置し観光客の誘客戦略を図るべきでは。

から8ヶ月余になるが、8ヶ月間の月次決算の収支状況は。

答 村長
収支状況は、収入が約2千2百万円、支出が約3千2百万円となっている。

国立自然史博物館誘致

問 村長は11月30日開催の国立沖縄自然史博物館に参加して新たな情報が得られたのか伺う。

答 宮城 明正 副村長

本建雄氏に沖縄県への誘致を伝えた。世界自然遺産登録記念式典の際に沖縄県金城賢環境部長に遺産地域の保全の重要性に係る自然史博物館設置の条件優位性についてもアプローチした。今後も、県をはじめ関係機関と連携していく。

比地長尾土地改良区

問 村道格上げの進捗状況は。

また、農道の草刈り作業は補助金・交付金等で業者に委託しては。

答 知念武裕 建設課長

村道格上げには認定要件があるので確認し、地域の声を聞き

ながら検討していきたい。

草刈り作業の省力化は、沖縄県に提案しており、事業化に向けて県と調整していく。

問 敷地の登記手続き、財産処分の進捗状況と今後のスケジュールは。

答 村長
財産処分は補助金の返還が生じないよう沖縄県と調整中。敷地の相続及び移転手続き完了後に、スケジュールを決定し、財産処分は沖縄県及び国と協議しながら公民館建設に取り組んでいく。

奥公民館建設の進捗状況は

問 敷地の登記手続き、財産処分の進捗状況と今後のスケジュールは。

答 田場盛久 農林水産課長
草刈り作業の省力化は、沖縄県に提案しており、事業化に向けて県と調整していく。

慰靈塔及び周辺整備

問 慰靈塔及び周辺整備等の進捗状況は。

答 村長

「国頭村慰靈塔及び周辺整備諸調査」として、現場調査、測量、設計、積算を今年度の委託業務で行い、整備の方法、費用等を算出する。その結果をもとに次年度以降の整備に向けて検討していく。

一般質問 12月の定例議会

本村の森林業振興は
本村の森林面積は村土の8割を占め、豊かな自然が残る地域であり、国際的にも重要な地域として認識されている。昨年7月26日に「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に登録され1年が経過したところである。今後、森を守る役割が一層重要視され、これまでの人間活動との関わりにおいて先人が残してくれた遺産を後世へ継承していくことが求められている。

世界自然遺産登録により、林業形態も変化することから、林業を適正に利用した再生保全・維持管理を行う公益的な役割を果たすことで、SDGs（持続可能な開発目標）につなげていく事が重要とされている。しかし、本村は県内唯一の木材拠点産地として木材の安定供給が必要とされるが、やんばる国立公園の地種区分の指定、世界自



渡口 直樹
議員

然遺産登録を受けて、施業のできる活動範囲が減少している。
そこで本村の森林業における基本構想と施策の方針を伺う。

問 森林の公益的機能を發揮させるため、様々な事業推進にあたり、持続可能な活動を継続するため現状と課題について伺う。

また時代の変化に対応した、林業経営の安定化に向けた具体的な方向性を伺う。

答 知花靖 村長

森林の公益的機能発揮について、本村においては造林事業等の森林施業を間伐による機能向上に努めている。

水源かん養林の保全をはじめ、生物多様性の保全などにつながる、所有者不明森林のほか、民有林の取り扱いなど多く課題を抱えている。

また、それらの課題は林業経営にも影響が出ており、今後、森林管理経営制度の活用や、担い手確保のための支援、木材活用方法の検討を関係機関と連携し進めていく。

問 本村における直近3か年間の森林環境譲与税配分額及び、これまでの主な活用事例を伺う。また、他市町村による森林環境譲与税を活用して、本村との自治体連携による取り組み事例はあるのか伺う。

問 国頭村森林公園リニューアル基本計画策定業務に向けての目的を伺う。



やんばるの森／持続可能な発展を

答 村長

平成30年3月に策定された国頭村森林公園基本計画の策定期から今日までの環境要因の変化などを精査し、新規整備における規模、優先順位などを示した内容となるよう編集作業を進めている。その内容については、施設の設置者である村と、施設管理者、利用する側、それぞれの代表者で構成する森林公園連絡協議会の意見聴取等を経て、その意見を反映させた内容となるよう進めていく。

答 村長

令和元年から令和3年度までの3年間で、計1,857万円の配分があり、活用事例としては現序舎への木材導入、新入学児童への机・椅子導入などの木材利用、普及啓発が主となっている。譲与税を活用した他市町村との連携し例があります。



與儀一人
議昌

国頭村の森林資源活用と 森林組合について

「国頭村議会」は国頭村の林業振興施策推進と森林公園指定管理に関する要請決議を全会一致で可決し、国頭村長に要請文を手渡した。

本村は、2016年9月15日
やんばる国立公園に指定され、
2021年7月26日待望の世界
自然遺産登録が実現し、やんば
るの森が世界から注目される
ことになった。村土8割を占め
る森林資源を有することから、
国頭村森林組合を中心に林業施
策が行われ、今後の林業を担う
若い後継者も増えてきている。
森林の持つ公益的機能や木
材生産機能を發揮し、環境保全
など多様なニーズに森林組合
の果たす役割は重要である。

問 森林組合における雇用状況を同う。

問 森林組合の経営改革の協議
状況を伺う。

答 村長

森林組合との経営改革協議
については、昨年度末から今年

今年度、村においては地域おこし協力隊インターーンの募集をかけているが、その受け入れ事業所として森林組合が登録を受けており、人材確保については継続して取り組んでいる。昨年度、組合内部で人材が不足し、募集をかけているが応募がなく、いい方法がないか相談を受けていたところ、役場との人材交流の方法も有効ではないかと提案していたが、現在のところ組合から正式な依頼はない状況だ。

問 森林組合との人事交流について伺う。

答 知花靖村長
令和4年12月1日現在の雇用
状況について、森林組合に伺つ
たところ、一般職員5名、臨時
職員1名、現場職員15名の計21
名となつてゐる。

平成30年度に森林環境保全整備事業計画の策定にかかる森林整備（造林）計画を策定した。実施期間は平成31年度～令

令和4年度は辺土名区での実施を見送ることとなり宜名真区2か所において計5・5ヘクタールの実施となつており、次年度以降についても安定的に木材供給ができるよう森林組合と調整しつつ計画的に進める。

度初め頃までは人事交流や地域おこし協力隊の活用などについて協議し、今年度については、森林公园が必要とする煮炊き用の焚火に使用する薪の供給や、カラ木の販路拡大についての協議を担当者レベルで進めている。今後も引き続き、経営の安定化に向け協議を重ねていきたい。

答 村長

村長に一つ約束してもらいたいことがあります。協議会、委員会と大きなもの、県の林務関係も含め、そして観光関係も、保全事業、保護事業、パトロール事業、環境省も含めて今後どのような林業の形をつくるのか。協議会を早急に立ち上げてもらいたいと思います。

林業振興補助金を活用し、令和2年度にはトラックスケール設備更新への補助を行った。

和5年度までとなつており、事業量はこれまでの約4年間は計画通りの執行である。

一般質問 12月の定例議会

農業経営において農業用水の確保は重要である。特に干ばつ時の散水や液肥の散布及び殺虫・殺菌を行う時に農業用水が出ないと作物の成長不良や収穫量に多大な影響を与える。

比地川沿いにある貯水池は、河川からの用水取り入れ口にある扉が老朽化して動かない状況である。大雨により河川水量が増加した時には河川砂も貯水池に向かって流れるため、水路が砂で堆積して貯水池に用水が流れない状況もあった。

河川からの用水を取り出す業を行うにしても、現在のフェンスの設置位置を見ると作業が困難な状況と見受けられる。奥間川沿いにある貯水池は、河川からの用水を取り込むための空気で膨らむラバーが破

奥間土地改良区の貯水池改修計画は



大田 孝佳
議員

れているのと、用水取り入れ口で土砂が堆積してふさがり、機能を果たしていない状況である。貯水池の改修計画はどうなっているのか伺う。

答 知花靖村長

奥間土地改良区の灌漑施設については老朽化が懸念され早急に対応する必要がある。

比地川沿いの取水地については今後の管理がしやすいようフェンスの移動等について次年度以降の実施に向け、管理組合と調整を進めている。

奥間川沿いのラバー施設については、破損により利用できない状況である。現在、今後の対応として管理組合と協議しているが、補修等による改善と、今後の維持管理に係る経費の面を考慮し、施設を廃止し、自然流による取水の可能性も検討したいとの意見もあるので引き続き協議を進めていく。



森林公園アkses道路の安全対策

シクからオーバーフローする水を利用してため池を検討する考え方はあるか伺う。

答 田場盛久農林水産課長

議員のほうから提案があつたところをまずは現地、現場を確認して、その可能性について調査させていただきたいと思います。

答 村長

奥間側道路を利用する地元の方から、観光で来られたレンタカーと事故になりそうなったことがあると聞いた。今後、交通量が多くなると見込まれるのであれば、再点検し危険箇所へのカーブミラー設置や、状況によっては中央線の線引きが必要と思うが具体的な対策について伺う。

森林公園整備事業を入れてこれまでの利用年数や交通量にもよるが、舗装の劣化や路盤の沈下等が生じている箇所もあり、議員の御質問のとおり世界自然遺産に登録後、村内道路を利用する観光客等車両の通行が増加している。

森林公園内の「やんばる森のおもちゃ美術館」が今の規模よりも大きくなる計画が進められていると聞いている。当然、より多くの客を受け入れるためにの計画であると理解する。

問 森林公園アkses道路の安全対策

森林公園内の「やんばる森のおもちゃ美術館」が今の規模よりも大きくなる計画が進められていると聞いている。当然、より多くの客を受け入れるためにの計画であると理解する。



島袋 晴美
議員

くいなエコ・スポレク ゾーン料金について

問 くいなエコ・スポレク公園 施設料金が条例により改正されたが事前に利用者、村民に向けた意見交換、値上げする理由などの提示や説明は行われたのか。なぜこの料金の改正に至ったか等の経緯を伺う。

答 知花靖村長

利用者及び村民に向けた意見交換は実施していないが、今年3月に受付掲示板に新旧料金表を掲示し、利用者や村民に対して周知を図った。今回の料金改正は、施設整備に伴う資材価格の高騰、燃料価格の上昇が主な要因。今後も引き続き村民が快適に施設を利用できるよう管理徹底したい。

問 利用者には年金受給者も多い。これまで通ってきた回数

答 商工観光課長

年間パスポートの推進やサブスクの利用、キャッシュレスやペーパーレスなどの方法でより一層幅広い年齢に利用してもらう方法を考えたい。

を減らさない、利用を促進させるようなサービスなど考えはないか伺う。

前田浩也 商工観光課長

陸上競技場トレーニング室の利用回数券10枚、改定に伴つて3千円、無料券2枚をつけている。パークゴルフ場はスタンプを10個貯めると次は1回無料。これは開所当時から行っているサービスで利用促進に向けて動いている。

国頭村立奥間小学校のプール利活用について

問 国頭村立奥間小学校のプール学習は6月から開始されているようだが他校の水泳学習は十分に行われているのか等、今後

のプールの利活用についての考え方を伺う。

村長

学習指導要領に基づき、計画的に水泳の学習時間を確保、

他校では移動時間を考慮しながら実施している。夏休み中の1週間ほど「国頭村子ども会育成連絡協議会」の事業計画に基づき親子で参加するプール開放を実施している。

プール監視員が不在な状況があるため、地域や関係者と連携した人材確保による充実した水泳学習を検討していくたい。

宮里光 教育課長

次年度は夏休みを含めて9月いっぱいまで伸ばすかは学校の教育課程の部分もあるので調整しながら学校に相談していく。プールの監視員については研修会等を検討したい。

監視員の人材不足が解消できれば子ども会やスポーツ団体などにも夏休みのプール利用が可能ということを周知してほしい。

教育課長

夏休み期間については村民に對してのプールの利用について今後検討していきたい。

問 奥間小学校の児童はプール学習の実施回数が多く、物理的な要因で他校は少ないという状況に以前より不公平感があると保護者から聞いていた。プール開放においても、物理的に困難



水の力で健康に!

という保護者の声が多い。監視員の人材確保が難しいとのことだが、児童から高齢者まで多くの村民が奥間小学校のプールを利用できるような施策はないか。

一般質問 12月の定例議会



山川 安雄
議員

世界自然遺産登録1周年 から何が見えるか

の質を高めつつ、国頭・大宜味・東のやんばる3村でサステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業において、行政と関係団体、民間事業者等が一緒にになり、サステナブルツーリズムの仕組みづくりを行っている。新たな星空観光については、星空資源が本村ならではの重要な観光ツールと捉えられており、現在は星空保護区認定に向けた事前調査等の取り組みを進めている。

問 11月23日、世界自然遺産登録1周年記念式典が国頭村で開かれた。「保全と利用」の利用に対するやんばる3村の将来展望の議論が少なかつた。

世界自然遺産の国際的な知名度を「保全と利用」で考えた場合、行政の縦割りでは広がりが弱く、村民が関わることで、その価値が上がる。今こそ「やんばる」という3村連携が大事なときであり、村民所得の向上につながる世界自然遺産知名度の活かし方を形にする方法があると考える。かし方を考えているか伺う。

はこの世界自然遺産登録といふ国際的ブランドを最大限に活かすことが自然史博物館の誘致にもつながると考えるが、村長の見解を伺う。

答 村長

世界自然遺産に登録はされたが、まだ効果が出てきてないと感じている。やんばる3村の行政、民間も含め、今後どう取り組むか、世界自然遺産というブランドを保全することは当然、産業、地域活性化に結びつくようにつかりと取り組んでいく。

農作物等の県外販売を展開する場合において「国頭村」の行政単位の知名度は極めて低く、それに比べ「やんばる」の知名度についてはNHK朝ドラ「ちむどんどん」の効果もあり、今や全国区になっている。3村における農産物等の販路拡大に向け担当者間の意見交換を始めた。

問 村民からガイド認定期制度の講習を受けたいが、その制度のための勉強会は今やつてないとのことだが、計画はあるか。

答 前田浩也 商工観光課長

必要性を感じている。新規にネイチャーガイド育成の講座を推進するため、年度内にやる予定だ。

まさに、その通りだと考える。観光産業はリーディング産業で、それから一次産業へ波及効果を及ぼす。PR、販路の拡大については、専門性があるプロジェクトマネージャーを雇つており、農家等を含め連携をしながら今後取り組んでいく。

答 村長

問 3村連携の中核行政である国頭村も世界自然遺産という国際的知名度を活用する目的で、観光協議会等の3村連携の人員配置、あるいは行政に置くのか、強く推進してもらいたいがどう考えるか。

答 商工観光課長

直近では3村の観光課長、観光協会も含めて3回ほど大きな会議を開いた。3村のポータルサイトの構築、次年度、その次の年までのアウトプットまでは構想に入れ、予算は妥当なのか含めて次年度にかけた動きを進めている。単村ではなく、「やんばる」という知名度を使った施策を展開していく協議を重ねている。

答 知花靖村長

世界自然遺産の世界的な知名度を活かし「保全と利用」



山城 正和
議員

**鏡地地区内ホテル建設計画に
対する住民アンケート
調査結果について**

問 令和4年11月4日付、鏡地区長より国頭村が発展していく上でとてもよいもの、あるいは耕作放棄地の解消・村内農産物の利用・若者の雇用の場ができる等の賛成意見や、建物が高すぎる、水・排水・ごみ等の問題が懸念される、治安が悪化する、景観が悪化する等の反対意見、また、賛成意見の中でも区民としつかり話し合い近隣住民に迷惑をかけないよう等の条件も多くあつたと伺っている。

答 知花靖 村長
景観条例の手続上、地域住民の合意形成が大前提となつており、地域との協議が済んだことを証する書類として地域協議書の提出が必要となつてゐる。

現時点において、事業者から、鏡地地区内ホテル建設計画について、地域協議書を添付することとしている国頭村景観条例第13条の規定に基づく事前協議申請書の提出はない。アンケート調査の結果については、鏡地区長より提出され

た「要請書」により、「鏡地区代議員会において、地域住民の合意形成ができるいないとの結論に達した」と承知している。

いて条例の見直しに関し協議をしていきたいと考えている。

**辺野喜1号林道の
早期災害復旧を求める**

問 令和4年11月18日付、国頭村長宛てに辺野喜区長から辺野喜1号林道の早期復旧について要請書が提出されていますが、この切実な区民の総意を重く受け止め、令和5年度中に災害復旧を実現できるか伺う。

答 村長

辺野喜1号林道の災害復旧につきましては、以前にも答弁しておりますが補助金の採択基準を満たす国庫補助事業等がなく、村単独による復旧工事の実施となる。

復旧については費用対効果などを考慮しながらの検討となり、復旧費用も多額になると予想されることから、令和5年度中の実現については困難である。

答 村長
宇良川の赤根橋に関する件は令和2年11月13日に宇良区より要望があり、沖縄県にも同年要請を行つてある。

北部土木事務所維持管理班に現在の進捗状況を確認すると、調査は進めているがまだ予算化に至っていない状況であるとのことだ。

橋桁や道路には影響がないため、通行止めは実施しないが、手すりのコンクリート剥離等があるので調査終了まで注意カラーコーンや看板等で注意喚起等の安全対策を実施していく。

**宇良川の赤根橋補修
計画について**

問 宇良川の赤根橋は2等橋のプレティジョン方式の橋梁で、建設から24年経過して欄干箇所の鉄筋が腐食し、コンクリートが剥離して、その一部のコンクリート破片が河川に落下するなど河川の利用者に大変危険な現状にあることから、赤根橋の補修及び安全対策は早期危険にやる必要があり、県との調整は行つているのか伺う。

茨城県 境町議会 行政視察研修

去った2月16日(木)に茨城県境町議会の皆様が視察研修のため来村されました。

茨城県境町と国頭村は道の駅間で活発に交流を行っており、令和2年に境町の「道の駅ゆいゆい国頭」内に「道の駅ゆいゆい国頭」のアンテナショップ「沖縄県国頭村公設市場」が

オープンしています。今回は「ゆいゆい国頭」の視察や、本村の移住支援制度・子育て支援制度について視察するため境町議長はじめ計14名が来庁されました。

本村の諸支援制度については担当課長や職員の説明を受け、お互いの町村の現状や課題等について意見交換を行い、視察研修終了後には両町議会で交流会を開催。今後も様々な分野で交流・連携していく事を再確認し、両町村の絆がさらに深まる良い機会となりました。

(令和4年11月～令和5年1月)

議会活動

11月

- 1日 監査委員職員研修会(議選監査委員)
- 2日 北部市町村議会議長会臨時会(議長)
- 4日 議会・区長会パークゴルフコンペ
- 16日 議会広報委員会
広報委員研修会
- 21日 与論町姉妹都市盟約
- 22日 与論町視察研修
- 23日 世界自然遺産登録1周年記念式典
- 25日 議会運営委員会
第12回臨時会
- 26日 職場対抗パークゴルフ大会
- 27日 北国小学校閉校式典(議長)
- 28日 常任委員長・副委員長実務研修会
- 30日 世界自然史博物館誘致シンポジウム

12月

- 1日 JA国頭支店との意見交換会
- 2日 鳥取県岩美町議長来村(議長・副議長)
- 6日 議会運営委員会
北部市町村議会議長会定期総会(議長)
- 7日 商工会女性部来庁(議長)
- 9日 12月定例会開会(～16日)
- 23日 安波道の駅落成式

1月

- 5日 国頭村二十歳の集い式典(議長)
国頭村新春年始会
- 16日 世界自然遺産図画コンクール表彰式及びラッピングお披露目式(議長)
- 19日 北部市町村会・議長会新年会(議長)
- 20日 北部三村議会連絡協議会
- 21日 国頭村産業まつり(～22日)
- 26日 総務財政所管事務調査(～27日)



令和4年高齢者叙勲 平敷善光氏 旭日単光章受章

昭和53年9月に国頭村議会議員初当選以来、4期16年の永きにわたり在職し地方自治の振興発展に尽力した。

卓抜なる識見と率先垂範の指導力で、昭和53年10月から昭和58年2月まで経済建設委員、昭和58年2月から平成2年9月、平成6年9月から平成10年9月まで文教経済委員として所管を調査し、行財政改革等の確立強化に尽力した功績はきわめて多大であるとして、令和4年12月1日に旭日単光章を受章された。



議会傍聴へのおさそい

村議会は3月、6月、9月、12月と年4回の定例議会が開催されます。3月定例会は3月10日(金)開会予定です。日程が決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

※役場1階ロビーのテレビでも議会を視聴することができます。

一般質問の内容は

一般質問通告書の質問・答弁を基本に(会議録に基づき)各議員でまとめ、議会広報委員が確認したものをお掲載しています。

ゆんたく
さびら

筋肉は裏切らない

最近よく聞くこの言葉。「筋肉？私は仕事、畑してから大丈夫」と思いがちですが実際は知らないうちに“筋肉痩せ”しています。若いときには何一つ不自由なかつたことがある時、おや？と感じます。自分の足で一生歩く、自分の体を一生涯自分で支えるために必ずしもきつい筋トレが必要なわけではありません。適度な全身運動で心拍数をいつもより少し上げる。動かして信じて下さい、自分の筋肉。一生ものです。

健康運動指導士 島袋 晴美

